

仙台市民活動サポートセンター 10周年記念シンポジウム

こんな仙台に住みたいな

～まちを育む市民活動とコミュニティ～

●Guest ゲスト

延藤 安弘さん
Endo yasuihiro
(特活)まちの縁側育くみ隊
代表理事



1940年大阪生まれ、北海道大学工学部建築工学科卒業、京都大学大学院修了。熊本大学、千葉大学教授を経て、2003年より(特活)まちの縁側育くみ隊・代表理事。2005年より愛知産業大学大学院造形研究科教授。工学博士。

京都のコーポラティブ住宅ユーコート、熊本のもやい住宅Mポート、神戸の真野地区まちづくり、世田谷のまちづくり、千葉・高知・北海道・名古屋圏等、全国各地の住民主体の住まい・まち育てにかかわっている。各地の事例をスライドで見せながら行う講演は「幻燈会」と名づけられ、その名調子から「現代の語り部」と呼ばれている。

「コミュニティを生成するハウジングに関する一連の研究」で1990年日本建築学会受賞。「もやい住宅・Mポート」で1995年日本建築学会作品選奨受賞。

主な著書に「こんな家に住みたいな…絵本にみる住宅と都市」(晶文社)、「何をめざして生きるんや一人が変わればまちが変わる」(プレジデント社)、「「まち育て」を育む—対話と協働のデザイン」(東京大学出版会)などがある。

■プログラム

開会	13:00	記念セレモニー
第1部	13:30	記念講演 ゲスト:延藤 安弘さん
第2部	15:10	パネルディスカッション
交流会	17:30	ゲストを囲んでワンコイン交流会
閉会	19:00	予定

●Panelist パネリスト(団体)

(特活)グループゆう

地域に拠点をもち、各々の自主性を尊重し合いながら、ハンディキャップをもつ人やその家族の自立を支援していくことを目的として活動している。1995年設立。

(特活)ワンファミリー仙台

路上生活者を対象にした就労支援、住民支援等の活動を展開していき、生活保護に極力頼らない方法での就労ならびに自立支援を目的として活動している。2002年設立。

まち遺産ネット仙台

仙台市内(特に旧市街地)における歴史的建造物、工作物、地形、樹木、庭園などの有形遺産、また技術、伝承などの無形遺産を「まち遺産」ととらえ、その保存、活用、再生をはかっていくことを目的として活動している。2006年設立。

●Coordinator コーディネーター

加藤 哲夫さん

(特活)せんだいみやぎNPOセンター 代表理事

企業を経営しつつ、市民活動暦約30年、食と農、環境、エイズ、市民活動支援とテーマは変わっても、見てみぬふりができない性分と現場からの言葉を生み出す基本は変わらない。2008年より宮城大学事業構想学部客員教授。

申込書

FAX 022-268-4042

申込書にご記入のうえ、直接当センター1階窓口へ持参するか、FAXでお申し込みください。
※託児をご希望の方はお問い合わせください。

お名前

団体名

連絡先住所 自宅 職場 (〒 -)

TEL 自宅 携帯 職場 FAX

E-mail

●いずれかをお選びください。

シンポジウムに参加します。(参加費:無料) シンポジウム+交流会に参加します。(参加費:500円)

●当センターから、主催事業のご案内をさしあげてよろしいですか?

郵送で案内を希望 FAXでの案内を希望 E-Mailでの案内を希望 案内不要

ご記入頂いた個人情報につきましては、当センターが主催する事業のご案内目的以外には使用いたしません。

■お問い合わせ先

仙台市民活動サポートセンター

TEL 022-212-3010

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

<http://www.sapo-sen.jp/>

受付時間: 平日 9:00~21:00 土日祝日 9:00~17:00

休館日: 毎月最終水曜日



※ 地下鉄広瀬駅西5番出口すぐ

※ 車で来館される場合は近隣の有料駐車場をご利用ください。